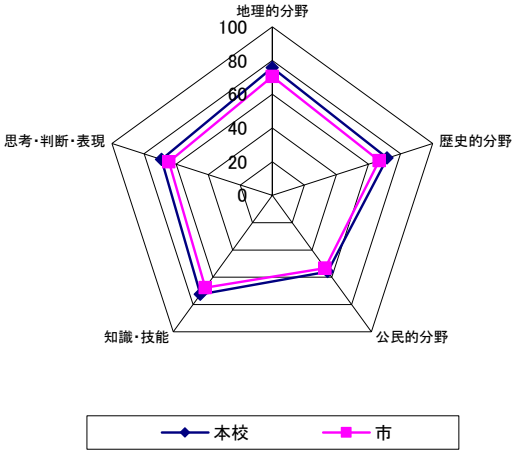
宇都宮市立豊郷中学校 第３学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	75.8	70.5	62.1
	歴史的分野	71.7	66.6	57.8
	公民的分野	55.9	53.3	45.2
観点別	知識・技能	72.5	67.6	59.2
	思考・判断・表現	69.1	64.5	55.7

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	平均正答率は75.8%で市平均より5.3ポイント高かった。 ○ほぼすべての問題で市平均を上回った。 ○日本の資源・エネルギーに関わる課題について、資料をもとに考察し表現する問題では、市平均を6.6ポイント上回り、大変良好である。 ●海洋の分布についての理解を問う問題では、市平均とほぼ同じであった。	・比較的正答率が高く、学習内容が定着していると考えられる。 ・文字だけではなく、映像資料等を生かし、生徒の学習内容の定着に努めていく。
歴史的分野	平均正答率は71.7%で市平均より5.1ポイント高かった。 ○ほぼすべての問題で市平均を上回った。 ○知識・技能を問う選択問題や短答式の問題は、ほとんどが市平均を大幅に上回っていて良好である。 ●開国による日本の社会への影響についての資料考察問題が市平均より0.8ポイント、また、地租改正に関する資料考察問題は市平均より6.3ポイント下回った。	・比較的正答率が高く、学習内容が定着していると考えられる。 ・多様な資料を基に歴史的事象の因果関係を読み取ることができるように、資料を取り扱う授業を積極的に取り入れる。
公民的分野	平均正答率は55.9%で市平均より2.6ポイント高かった。 ○すべての問題で市平均を上回った。 ●新しい人権の背景について、考察し表現する問題では、市平均とあまり変わりない正答率であった。	・人権や憲法に関する問題の正答率は比較的高く、学習内容が定着していると考えられる。 ・考察したり表現したりする力をさらに向上させることが求められるので、授業の中で自分の意見を書く機会や自分の考えを発表する機会を増やしていく。